



平和学習

慰霊の日を前に、本校でも平和学習にとりくみました。一つは絵本「つるちゃん」「ケーイ」等の作者：金城明美先生の読み聞かせとお話を伺いました。明美先生は「つるちゃんの娘です!」と最後に語った時には、子供たちからどよめきが起こりました。「戦争は怖くてつらかっただろうね。」「つるちゃんはどうな思いを伝えたいと思っていたの?」「つるちゃんが生きているから明美先生がいるんだね」様々な感想や質問を交換しました。もう一つは、バスガイド(ティーダ観光:崎原真弓)さんによる戦争体験談でした。やわらかでしっとりとした語り口で「命は宝」「まくとうそーけーなんくるないさ」など「金言」を教えて頂きました。崎原さんは「おばあ」になりきって、三線を弾き語り戦争体験談をこどもにわかりやすく、戦争を生き延びた人々の言葉を全校児童に放送を使って語り伝えていました。戦争体験者が減少する中、平和学習の形も変わってきました。崎原さんのように伝える活動をする人の話だけでなく、自ら関心をもって「沖縄戦の実相」について調べることも必要になってきます。慰霊の日を単に休みの日としてとらえるのではなく、「あの戦争をわすれない」という気持ちを子供たちが持ち続けられるよう、教育の現場からも平和学習として取り組み続けたいと思いました。



もうすぐ夏休み

暑さも日に日に増し、水分や体力を奪っています。子供たちの水筒や帽子の持参の確認をお願いします。さて、7月17日、1学期が終了します。子どもたちが待ちに待った夏休みの到来です。一学期の学習のまとめをしっかりと行い、学校ではできなかったことを計画立てて挑戦するチャンスです。例えば、「〇〇の観察」、「〇〇調べ」、「〇〇実験」などいろいろあると思います。図書館の本やPCを使って、日常から不思議だなと思ったことや授業の中でまだ納得していない部分を探究してみましょう。また、スポーツでできなかったことを様々な方法で成功してできるようになった過程を記録するのも楽しいです。保護者の皆様には、是非お子様と楽しい思い出を作りつつ、1学期の積み残しを確認する機会をつくっていただきたいと思います。また、夏休みは、危険やトラブルも多いです。お子さんの健康管理だけでなく最近深刻化しているSNSを通じたトラブルに気を付け、生活リズムを崩さないよう留意し、必ず家族に相談して外出するよう家庭での話し合いをお願いします。



大山小お誕生日おめでとう

6月10日は大山小学校創立80年の記念の日でした。PTAからはお誕生日ケーキがふるまわれみんなで祝いすることができました。80年といえば、戦後すぐに大山小学校が地域の人々の希望で建てられここまで来ることができたことになります。ある時期には1200名を超える児童を抱えていたこともあり、給食時間に校長からお祝いのメッセージを放送しました。子供たちは静かにきいてくれたようで、子供からのお祝いのお返事ももらいました。一部紹介いたします。

大山小へ 80歳のお誕生日おめでとう!
大山小のおかげで、私は挨拶がうまくなったり、人前で発表できたりするようになりました。最初はとても緊張したけれどだんだんと慣れて「挑戦」というのができるようになりました。80歳になっても元気にみんなで楽しく過ごしたいです。
(4学年児童)

とても心温まるメッセージでした。地域の皆様に愛されている大山小学校です。本校への来校者の中にも「私も大山小の卒業生ですよ!」と誇らしげにお伝えくださる方も多いです。その愛情は児童にしっかりと伝わり、継承されていくこと間違いなしです。今年度末(令和9年1月)には80周年記念の行事が計画されています。PTAや期成会とともに無理のない形で、子供たちの思い出に残る温かい会になるよう皆様のご協力もよろしくお願いいたします。



民生委員の紹介

6月12日体育館で民生委員の学校訪問がありました。民生委員は厚生労働省から委嘱された地域の住民で、生活上の困りごとや心配ごとを相談できる人材です。地域の見守り・地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役として福祉をになっています。また、地域の児童ののぞましい伸長・発達を願って取り組んでいます。子供たちにも地域の民生委員の顔を覚えてもらい、平素から声をかけあえる大人として認識してもらうことで危険回避、避難などにつながっていく可能性があります。家庭でもお話を聞いてみてください。

